

4 人材育成活動

□ 公共経営分野

地域活性化プランナー学び直し塾

1. はじめに

本学では、2006(平成 18)年度から包括協定を締結している県内自治体と「淡海地域政策フォーラム」を組織し、分権時代にふさわしい行政職員学び直し塾を開始していたことをベースに、文部科学省の「社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム」に採択され、2007(平成 19)年度から 2009(平成 21)年度までの3年間取り組んできた。そうした成果を踏まえ、社会連携研究センター独自プログラムとして、2010(平成 22)年度から「地域活性化プランナー学び直し塾」として実施することとなった。

本塾は、地域は生活に身近であることから、その態勢とは行政と市民が協働して共に治める地域ガバナンスの確立だという認識のもと、地域ガバナンスの中核として期待される行政職員、NPO 職員、社会的市民(地域活性化プランナー)の地域政策の立案能力向上を目的として、実践的な教育研修を行うものである。

本稿は、第 10 期となる平成 28 年度の状況について報告するものである。

【図表 1 地域活性化プランナー学び直し塾のこれまでの歩み】

年	年度	主なトピックス	修了生数		
			自治体	その他	計
1	H19 (2007)	<ul style="list-style-type: none"> 文部科学省「社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム」の採択を受け、学び直し塾を開始。 初年度のため、9月に開講、3月に地域政策シンポジウムを実施。 政策テーマは「協働」、「NPM(ニューパブリックマネジメント)」、「地域ガバナンス」。 	21	1	22
2	H20 (2008)	<ul style="list-style-type: none"> 6月開講、2月に地域政策シンポジウムを実施。 現地視察研修を開始、米原市で実施。 	19	7	26
3	H21 (2009)	<ul style="list-style-type: none"> 6月開講、2月に地域政策シンポジウムを実施。 湖南市で現地視察研修を実施。 文部科学省の支援が終了、包括協定連携自治体と大学、一般参加者からの受講料負担により次年度以降の継続を決定。 	19	6	25
4	H22 (2010)	<ul style="list-style-type: none"> 東近江市で現地視察研修を実施。 	15	7	22
5	H23 (2011)	<ul style="list-style-type: none"> 愛荘町で現地視察研修を実施。 OB 会を設置。 今年度以降、一般財団法人滋賀県市町職員互助会からの寄付を受託。 	18	3	21
6	H24 (2012)	<ul style="list-style-type: none"> 山崎塾長退任、石井塾長就任。 草津市で現地視察研修を実施。 テーマ開発を行うために企画委員会を設置。 OB 会鎌倉視察研修実施。 	17	2	19

7	H25 (2013)	<ul style="list-style-type: none"> 政策テーマのうち「協働」を「共生社会」に変更。 高島市で現地視察研修を実施。 OB 会鎌倉視察研修実施 	17	12	29
8	H26 (2014)	<ul style="list-style-type: none"> 彦根市で現地視察研修を実施。 	20	7	27
9	H27 (2015)	<ul style="list-style-type: none"> 政策テーマに「地域産業」を加え、「共生社会」、「地域産業」、「NPM」「地域ガバナンス」の4テーマで実施。 長浜市で現地視察研修を実施。 山崎前塾長が名誉塾長に就任。 OB 会を再編し、しが地域活性化プランナーズネットSPN設置。 シンポジウムでのグループ発表において「最優秀政策提言賞」を設置。 	18	6	24
10	H28 (2016)	<ul style="list-style-type: none"> 大津市で現地視察研修を実施。 10周年を記念し、シンポジウムにて滋賀大学位田隆一学長が基調講演 	17	8	25
合計			181	59	240

2. 学び直し塾の特徴

学び直し塾の特徴は、次のとおりである。

(1) 講義とワークショップの組み合わせ

政策科学の最新理論を講義形式で提供した後、4つのグループに分かれ、具体的なテーマでのワークショップを実施し、テーマに基づく政策案を立案する。立案政策案の実現応力向上のためのプレゼンテーションを経て、公開のシンポジウムで報告し、多くの人々と意見交換する。こうしたプロセスにより政策形成の能力向上を図っている。

(2) 現地視察研修

現場感覚を体感するための現地視察研修の設定し、研修内容に厚みを持たせている。

(3) 認定委員会による資格認定

「地域活性化プランナー認定委員会」を設け、レポート、出席率、受講中の態度などを総合的に評価し、修了者に対し「地域活性化プランナー」として資格認定(滋賀大学からの履修証明)を行う。

(4) 政策案の公表等

4つのグループで提案された立案政策案を報告し、自治体の政策形成に役立ててもらおう。

3. 平成 28 年度実施成果

(1) 平成 28 年度実施プログラム

図表2のとおりである。

【図表2 平成 28 年度実施プログラム】

日 時	内 容	場 所
H28.6.9 (木) 14:00～15:00	第 1回 開校式(オリエンテーション)	滋賀大学 土魂商才館(彦根)
15:00～17:30	地域政策とは<理論編>	滋賀大学 土魂商才館(彦根)
6.23 (木) 18:30～20:30	第 2回 多様な主体による政策づくり<理論編>	大学サテライト・プラザ彦根
7.7 (木) 18:30～20:30	第 3回 知的生産の技術<理論編>	大学サテライト・プラザ彦根
7.21 (木) 18:30～20:30	第 4回 政策形成の進め方<理論編>	大学サテライト・プラザ彦根
7.29(金)～7.30 (土) (時間未定)	第 5回 現地視察研修	大津市内
8.4 (木) 14:40～18:20	第 6回 パワーポイント研修(希望者)	滋賀大学 情報処理センター
18:45～21:00	中間ワークショップ	滋賀大学 大会議室(彦根)
8.18 (木) 18:30～21:00	第 7回 政策分析 1 <実践編>	大津サテライトプラザ
9.1 (木) 18:30～21:00	第 8回 政策分析 2 <実践編>	大津サテライトプラザ
9.15 (木) 18:30～21:00	第 9回 政策分析 3 <実践編>	大津サテライトプラザ
9.29 (木) 18:30～21:00	第10回 政策分析 4 <実践編>	大津サテライトプラザ
10.13 (木) 18:30～21:00	第11回 中間講評 <実践編>	大津サテライトプラザ
10.29 (土) 10:00～17:00	第12回 政策分析 5 (集中議論) <実践編>	大津サテライトプラザ
11.10 (木) 18:30～21:00	第13回 政策分析 6 <実践編>	大津サテライトプラザ
11.24 (木) 18:30～21:00	第14回 政策分析 7 <実践編>	大津サテライトプラザ
12.8 (木) 18:30～21:00	第15回 立案政策案のプレゼンテーション <実践編>	大津サテライトプラザ
H29.1.28 (土) 13:00～17:00	第16回 シンポジウム (修了式)	大津市旧公会堂

※日時・場所は変更となる場合があります。

政策分析は全体テーマを「地方創生の実践」とし、次の4つのテーマで4グループに分かれて行った。

- 共生社会「地域包括ケアシステムを支える地域支援事業を考える」
- 地域産業「インバウンド観光ビジネスを考える」
- ニューパブリックマネジメント(NPM)「公民連携のあり方について考えるー『小さな拠点』を対象にー」
- 地域ガバナンス「中山間地域における地域自治の推進方策を考える」

(2)担当講師

- 石井 良一<滋賀大学 社会連携研究センター 教授/学び直し塾 塾長>:地域産業グループ主任
 阿部 圭宏<滋賀大学 社会連携研究センター 客員教授/学び直し塾 副塾長>:地域ガバナンスグループ主任
 北村 裕明<滋賀大学 経済学部 教授>
 神部 純一<滋賀大学 社会連携研究センター 教授>
 横山 幸司<滋賀大学 社会連携研究センター 教授>:NPM グループ主任
 加納 圭<滋賀大学 教育学部 准教授>
 今井 久人<滋賀大学 社会連携研究センター 客員准教授>:共生社会グループ主任
 壬生 裕子<滋賀大学 社会連携研究センター 客員研究員/同志社大学政策学部嘱託講師>
 仲野 優子<滋賀大学 社会連携研究センター 客員研究員/特定非営利活動法人 しが NPO センター専務理事>

(3) 受講生及び地域活性化プランナーの認定

包括協力協定締結自治体などへの参加の呼びかけ、NPO 等への公募を行った結果、受講生は 25 名（自治体職員 17 名、NPO スタッフ、市民等 8 名）を得て実施した。このうち、修了基準を満たした 23 名（自治体職員 17 名、NPO スタッフ、市民等 6 名）を地域活性化プランナーとして認定した。

(4) しが地域活性化プランナーズネット SPN 交流会の実施

1 期～10 期で合計 232 名が学び直し塾を修了し、地域の現場で活躍している。2015（平成 27）年 8 月に設立した「しが地域活性化プランナーズネット SPN」では、学び直し塾の現地視察、修了式に合わせて交流会を実施し、修了後の横のネットワークの強化を図った。

(5) 企画委員会の開催

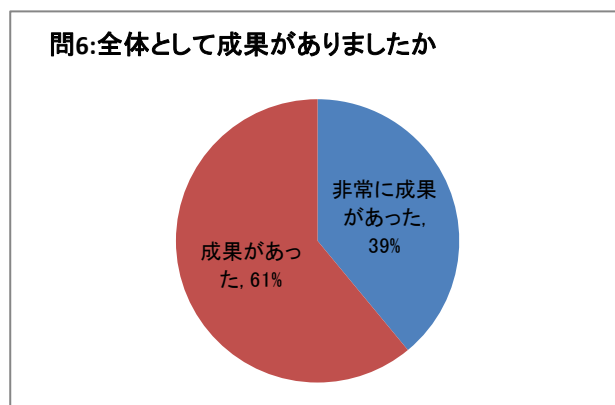
次年度の実践課題テーマ、自治体以外の参加者の参画のあり方を検討するために、2 月に NPO メンバー、学び直し塾 OB を加え、企画委員会を開催し、助言を頂いた。

4. 受講生の評価

受講生を対象に、本塾へのアンケートを実施した。授業の回数、難易度、課題やレポート等の作業量、評価、成果等について率直な意見が寄せられた。すべての受講生が「非常に成果があった」、「成果があった」と評価している。なお、研究成果については、滋賀大学社会連携研究センターホームページで公開している。

【図表3 受講者の評価】

問 6: 全体として成果がありましたか		
1.	非常に成果があった	9
2.	成果があった	14
3.	あまり成果がなかった	0
4.	成果がなかった	0
5.	その他	0



- ・市民として「地域包括ケアシステム」への理解が深まり、今まで見えなかった行政の役割や課題も具体的に見えた。一方、市民としてできること、やった方がいいことも見えた。
- ・非常に有意義であった。
- ・成果としては、地域包括ケアシステムについての私自身の理解度が深まった点です。
- ・地域の課題について意識することが出来ました。行政との連携についてもヒントを得られました。中間発表では酷評していただきました(笑)。おかげで若手職員のモチベーションが落ちてしまいチームとしての復活を心配しましたが、立ち直ってくれて前向きに取り組んでくれました。良い発表が出来たと考えています。
- ・普段の保健師の仕事からは少し離れて、他市町の行政職の方や意欲のある市民さんと交流することができ、繋がりができたことがすごく達成感を感じる。

4. 人材育成活動

- ・リーダーをさせていただいたことがとても勉強になった。メンバーや先生にとっても感謝している。議論をグラフィカルにメモする能力がこの塾のおかげで格段あがった。また、自分にそういう才能(才能というのは言い過ぎかも知れませんが)があるとわかり、よかった。他にもその力を活かしている。
- ・政策立案の方法を学ぶことができたのでよかったです。
- ・実際に政策提言するまでのプロセスを身をもって学べた。
- ・従来、あるようではなかったものを初歩的な段階ではあるが、創り上げていけたかと感じています。
- ・政策として一定の形ができたと思います。当初はまったく理解ができませんでしたが、諦めずに政策を形成する過程で知識を得ることもできました。また、講師の皆様やグループメンバーと繋がりができたことは今後それ以上の成果となると思います。
- ・公民連携については、ある程度知っていたが、今回のように系統的に学び、考えたことがなかった。今回、まとめを行ったことにより、知識が深まるとともに考え方も深まった。
- ・政策形成の手法は形式にはまったものではなく、いろいろな切り口で考えていけることを学べた。
- ・これまでの取り組んだことのない分野であったため、興味深く新鮮でたいへん勉強になった。また、メンバーといっしょに議論を進めていくことで政策案の内容について精度を高めることができたように思う。
- ・人とつながれたことが最大の成果。
- ・現在、担当している業務に直接的に関係するテーマであったため、他市町を事例に検討している中でも、自身の業務やまちに還元できる内容が多く、そういう意味でも成果が多かった。
- ・あまりだらだらすることなく目標を持って、段階を踏んでしっかりと取り組むことができたおかげで、一定の成果が得られたと思います。
- ・日常業務では会えない方と一緒にグループ研究を進めていくことで、日ごろ気付くことのできないことや新たな発見もあり視野が広がった。
- ・他市町の職員の方などと具体的な事例を活用してのグループワークが行え、非常に実践的であった。
- ・限られた時間の中で発表まで持っていくことができたことは成果であった。しかし、発表の中身を担当制にしたこともあり、各担当が仕上げたことに関して議論を十分に深めることができなかった。
- ・自分の実活動に自信を持つことができた。行政マンの「上から目線」「実態を知らない感」がわかり頼れないことを感じた。

5. 今後に向けて

今年度は24名の参加者で、4グループに分かれて精力的に政策分析に取り組んだ。いずれも困難なテーマであり、当初は意見の集約化に手間取る場面も見られたが、結果的にはどのグループも行政と市民の差、地域の差を乗り越えて、活発な議論が展開され、優れた政策提言を行うことができた。

学び直し塾のいい点は多様な人材が集まる点であり、今後とも質を落とさず、魅力的な講座となるよう努力していきたい。

(文責 教授 石井 良一)